

食の安全安心の確保に向けて 消費者と事業者の役割

日和佐信子

不祥事・最近の事例

- 不二家

期限切れ牛乳の使用

消費期限の延長・・・プリン・シュークリーム

一般生菌数の社内基準超過・・・洋菓子

工場内の虫やねずみ

雪印の二の舞

- ミートホープ

原料の偽装 豚 鶏 内臓……
食品製造者としての倫理の欠如
ばれなければなんでもあり
偽装の技術を誇りにしていた
消費者だって安い物を買う

- 石屋製菓 白い恋人
消費期限の改ざん
的が外れていた企業経営
ミニテーマパーク サッカー

- 赤福
消費期限の改ざん

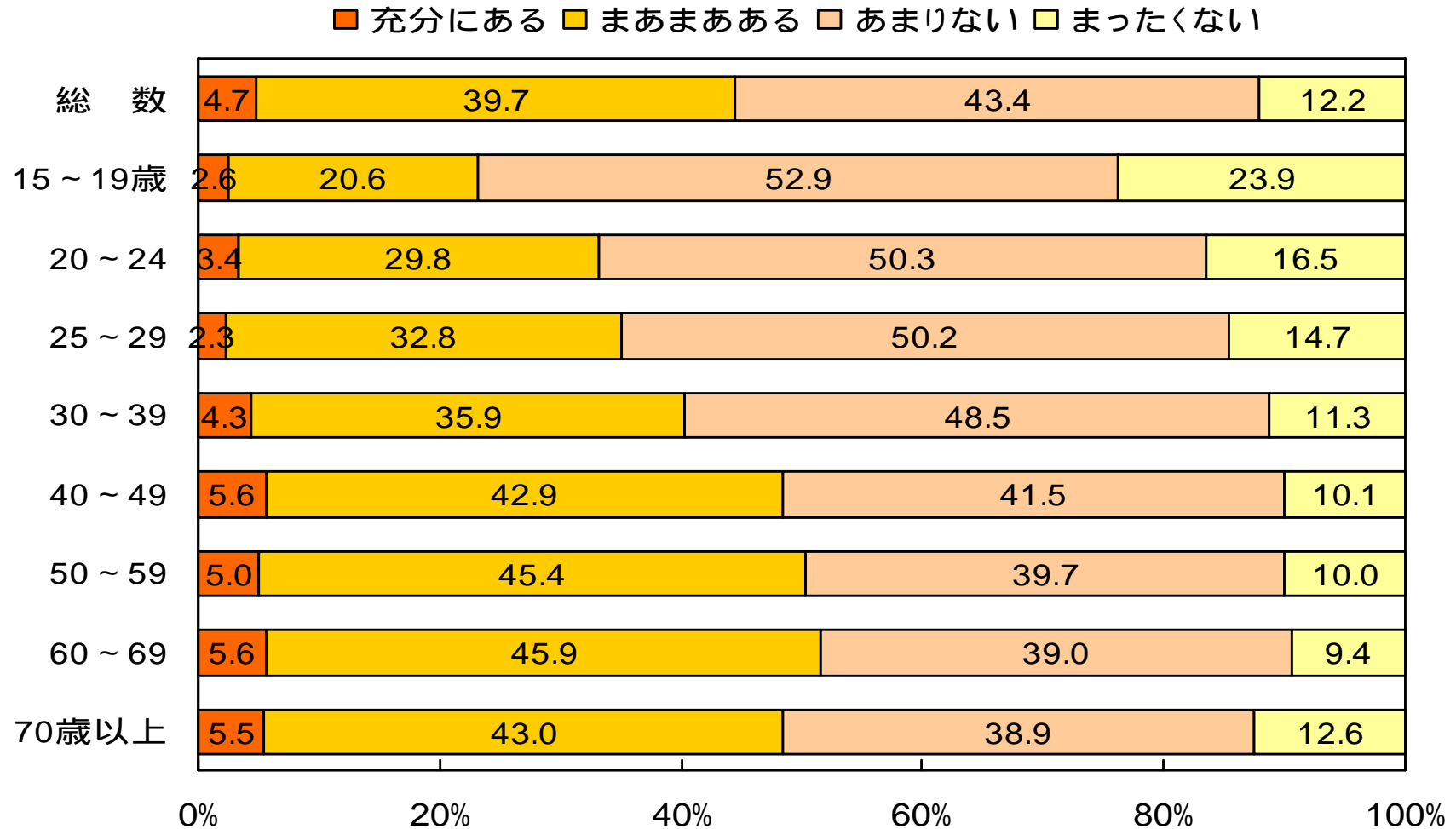
2008年

- 輸入冷凍餃子による食中毒
- ウナギかば焼きの産地偽装
- 事故米の食用への転売
- 食品にメラミンの混入

食の安全安心に関する消費者 ニーズアンケート 不安を感じる順位

- B S E
- 残留農薬
- 環境ホルモン(内分泌かく乱化学物質)
- 汚染物質(水銀 カドミウム)
- 有害微生物(細菌 ウイルス)
- 家畜用抗生物質
- 食品添加物
- 遺伝子組換食品

食品選択等に困らない知識・技術の有無(年齢別)



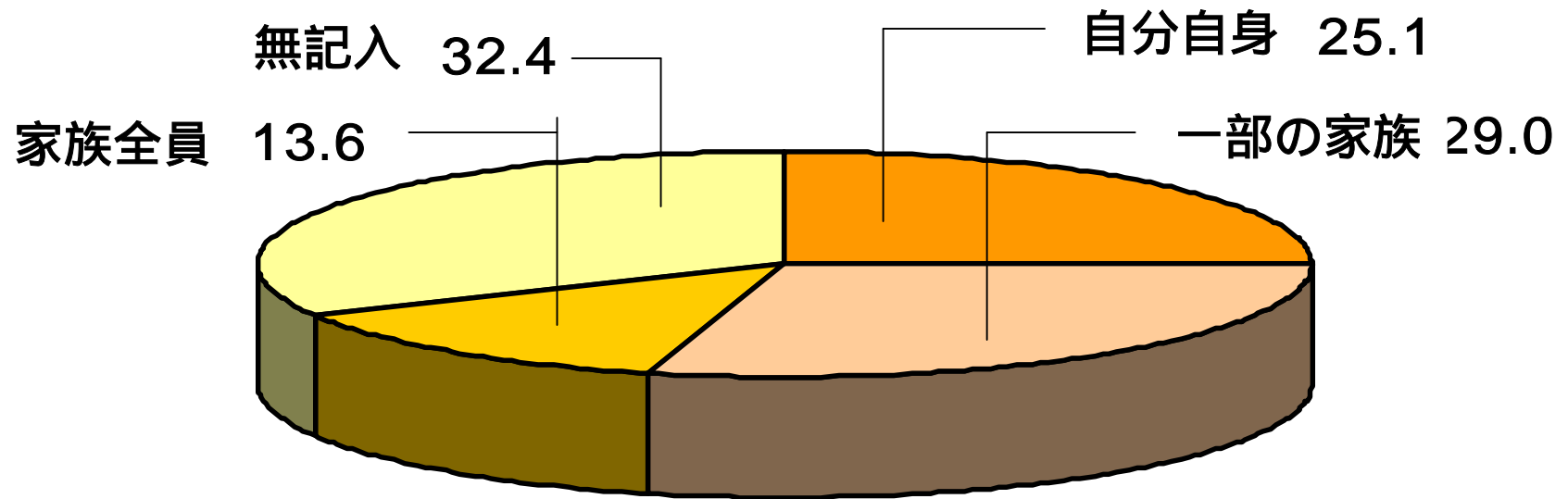
資料:厚生労働省「国民栄養調査」(11年調査)

注:15歳以上の者を対象に実施したものである。

出所:「食糧・農業・農村の動向に関する年次報告(平成14年度)」2003年

サプリメントの利用者

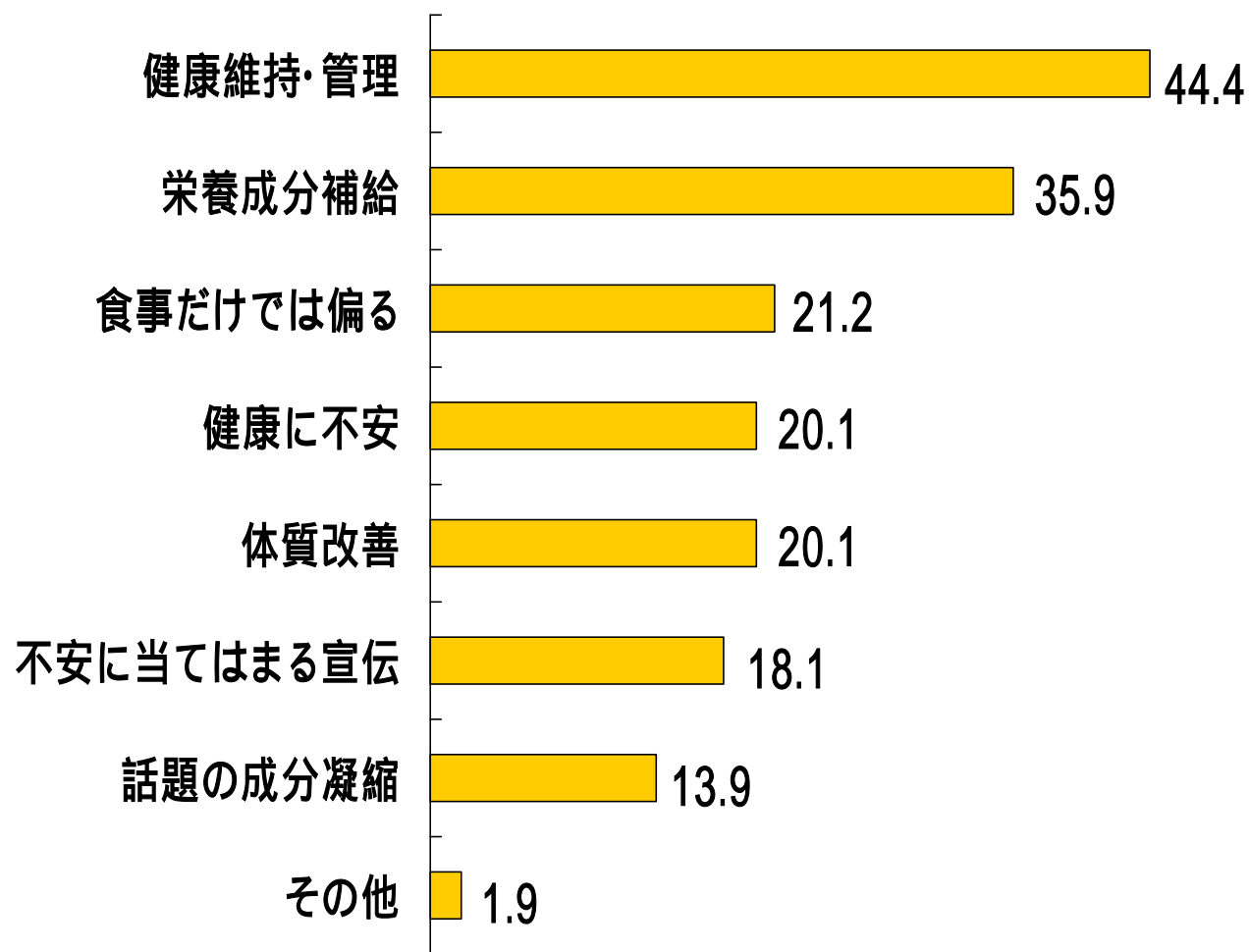
(%) n:383



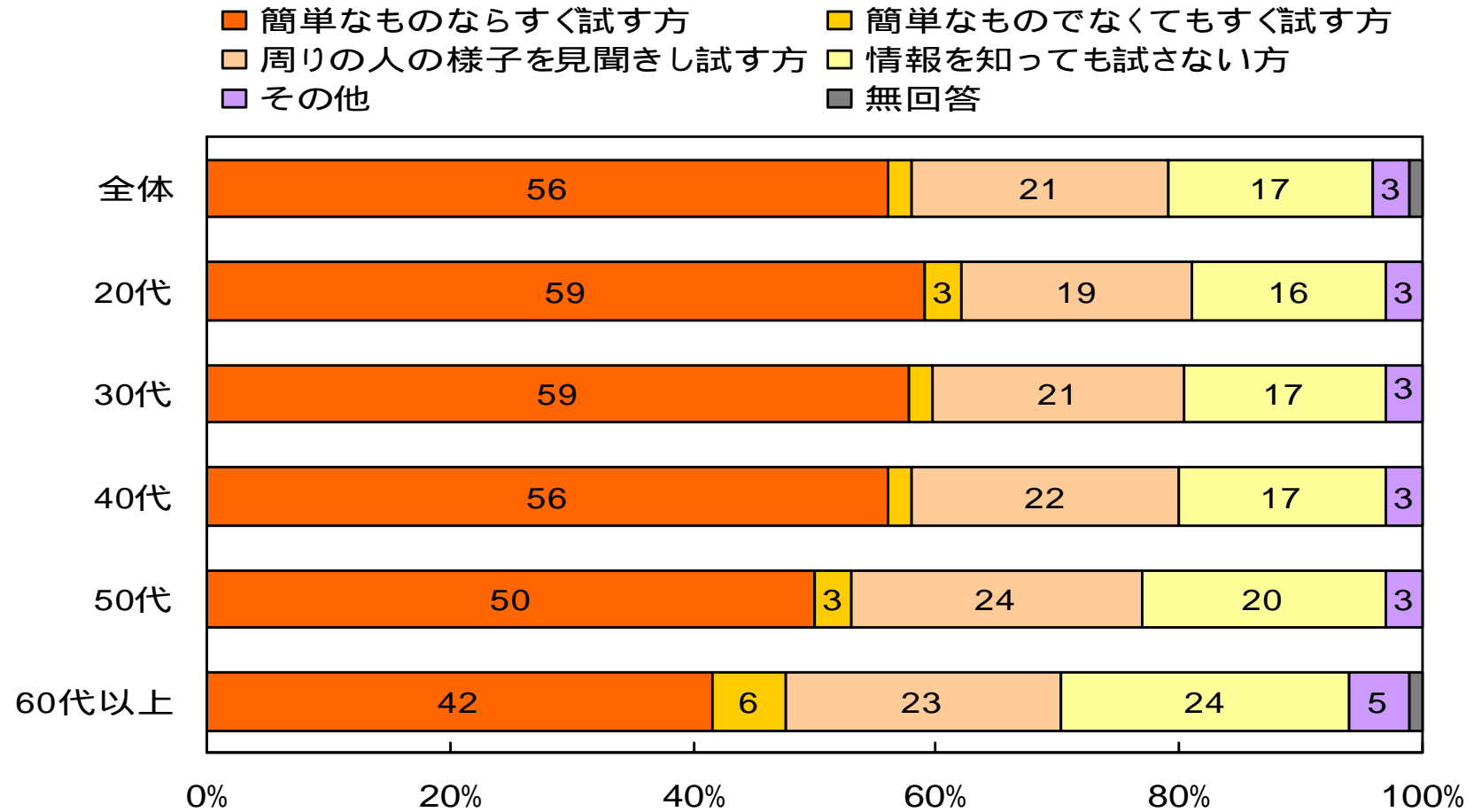
月刊 消費者 - 12.2005 より

サプリメントを利用している理由

(複数回答・%) n:259



マスコミの「健康に良い食品」の情報に対する対応



出所:日本生協連「体に良い? 食情報と私たちの食生活アンケート調査」 インターネット調査 2003年11月

食の安全と安心

- 食の安全

食の安全を確保するための仕組み
法制度 事業者による自主ルール

- 食の安心

行政や事業者への信頼

食品添加物

食品添加物

指定添加物 3 6 4

既存添加物 4 5 0

天然香料

一般飲食物添加物

安全性の科学的判断

- **ハザード** 人の健康に悪影響をもたらす可能性のある食品中の物質
- **リスク** 摂取された結果、悪影響が生じる確率とその程度
- **無毒性量** 毒性を示さない用量
単回投与・反復投与毒性 繁殖・催奇形性
変異原生 発がん性 体内動態に関する
- **ADI(1日摂取許容量)** 無毒性量の100分の1

リスク分析とは

リスク評価

科学ベース

食品安全委員会

安全性の評価

リスク管理

政策ベース

厚生労働省・農林水産省

基準値の設定

リスクコミュニケーション

消費者・生産者・流通事業者などの

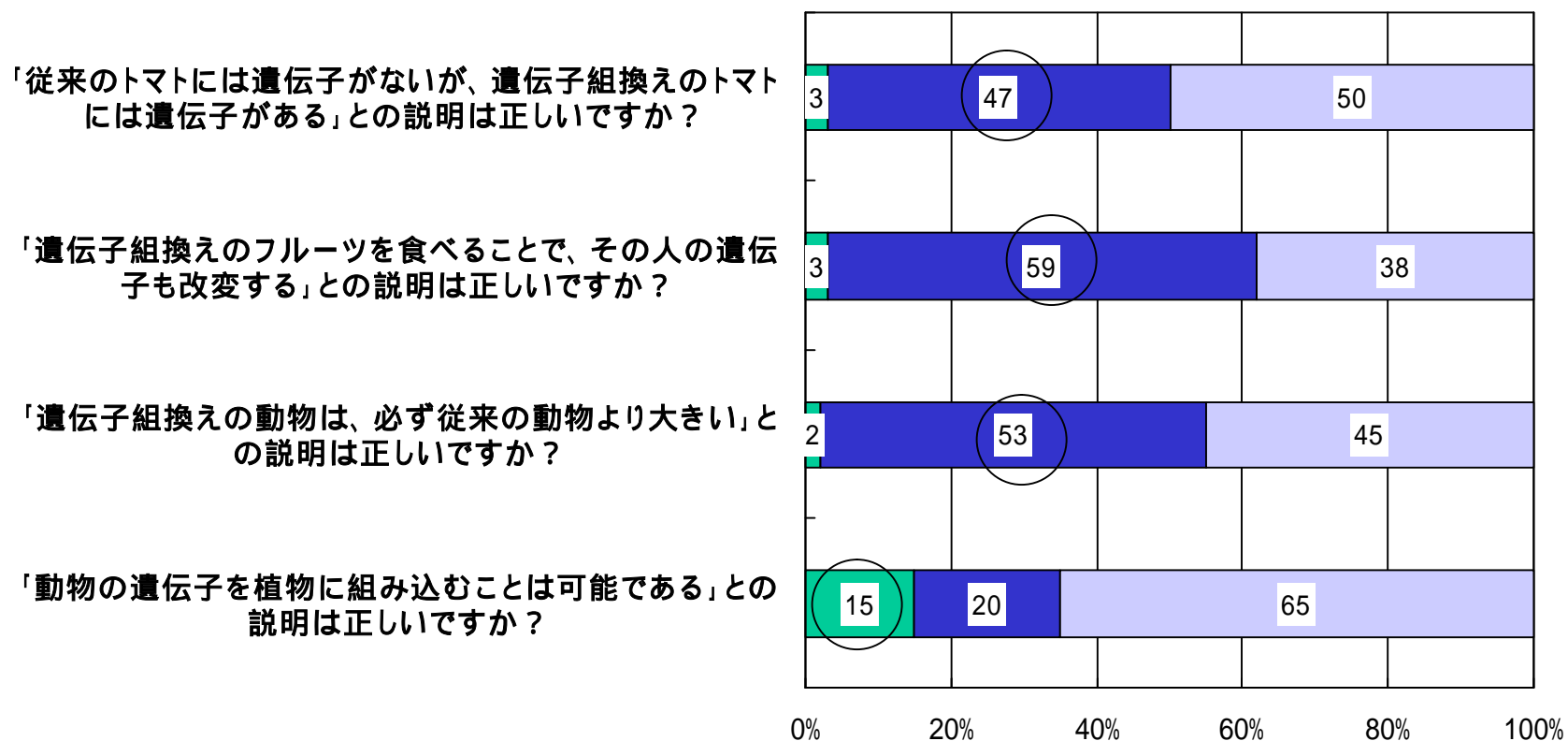
関係者相互間で情報・意見を交換

遺伝子組換え食品

- 挿入された遺伝子の安全性
- 作られるたんぱく質の安全性
- アレルギー誘発の可能性
- 他の有害物質を作る可能性
- 成分が大きく変わる可能性

人への安全性評価のポイント

遺伝子組換えの知識



■ 正しい ■ 間違い ■ わからない

○ は正解

BSEの問題

リスク クロイツフェルト・ヤコブ病
牛のプリオンたんぱく質の摂食
発症推定数は0.1人から0.9人

リスクの排除

プリオンを摂食しない

特定危険部位(頭部、せき髄、せき柱、
回腸遠位部)の排除

飼料の管理

ピッシングの廃止

基準値とリスクの程度

- **事故米** メタミドホス 0.06ppm (0.01ppm)
アフラトキシン・・・焼酎に使用・・・廃棄
- **メラミン** 許可されていない食品添加物
輸入食品に最高37ppm
50kgの人で 1日25mgが上限
クリームパンダ17個まで大丈夫

こんにゃくゼリーをどう考えるか

- 食べ物をのどに詰まらせる事故
- 年間4000名
- 2006年の調査 1358件
- もち 168 パン 90 ご飯 89
- すし 41 あめ 28 だんご 23
- おかゆ 22
- こんにゃくゼリー 1995年から17名
-

情報に惑わされないために

- 「・・・を食べれば・」単純な情報は、排除する
- 危険・効くなど極端な情報は、警戒する
- その情報がだれを利するか、考える
- 体験談には冷静に対処する
- 問題にされている「量」に注目する
- 懐疑主義になり、自分で判断する

メディア・バイアスあやしい健康情報とニセ科学 松永和紀

企業の取り組み

- 社風の改革
- おかしいことはおかしいと言える風土
- ルール、決めたことは守る
- 企業倫理の徹底
- 消費者を重視した経営の徹底
- 情報の公開
- 社外の意見を聞く仕組み